

本メルマガは、当社「日税フォーラム」「日税オンデマンド」でもご活躍いただいている(株)事業パートナーの代表取締役社長松本 光輝先生に 300 社を超える会社の再生の成功体験をもとに金融機関交渉に関してQ&A形式でまとめて頂きました。この情報が関与先様へのアドバイスの一助となれば幸いです。

『質問内容』

社長である私の父と兄に銀行借入の保証人になってもらっている。業績が悪く廃業か倒産するかもしれない。

2人の保証人に関して、銀行と交渉して外してもらうことはできないか？

《アドバイス》

2014年2月1日より試行された“経営者保証に関するガイドライン”により、社長以外の第三者保証人を外すことが容易になりました。根拠を整え、銀行に対して父親と兄の保証人を外す交渉をして下さい。

《方法》

- ・基本的には会社の業績が悪いと保証人は外れません。
- ・父親と兄に資産が十分にある場合で会社の業績が悪くと、銀行は2人の保証人を外しません。ということは、会社の業績が良く2人に資産が無い場合は直ぐに外れる可能性があります。まずは、銀行に「外して下さい！」と依頼して、拒絶されたらその理由を確認し、次に“どうしたら外してくれるか？”を尋ねる。
- ・会社の業績が悪くならないうちに他の銀行から借りてその銀行に返済する。
- ・一時金を繰り上げ返済して、2人の保証人を外してもらう交渉をする。

※根気強く交渉すれば、何かの解決方法は必ず出てくるはずですが、外せなければ、父親、兄の相続時に法定相続人に保証債務が承継されます。今、やるべきです。

〈著者プロフィール〉

松本 光輝 氏

株式会社事業パートナー 代表取締役。40年にわたり、飲食業を中心に会社経営。バブル崩壊時に25億円の負債を抱え、その後3年半でその負債を解消する。2003年より、事業再生請負人として全国行脚中。この間、依頼先の多くが1～2ヶ月以内に、資金ショートに陥るおそれ

があるという危機的状況の中から、1社も倒産させることなく、300社を優に越える会社の再生を成功させる。◎過去の経験を活かして、中小企業経営者の最高の相談者となるべく、活動を続けている。◎経営者はもとより、幹部社員の皆様・社員の皆様の声をくみ上げ、共に全社一丸となった再生を達成すべく、全力で取り組んでいる。着手後、30日以内に再生計画を作成して、実行に移している。◎会社を3年かけて再生させる独自の再生術は、他に類を見ません。

■■■■■ 著作権 など ■■■■■

著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することは、著作権法に触れる行為となります。また、メールマガジンにより専門的アドバイスまたはサービスを提供するものではありません。貴社の事業に影響を及ぼす可能性のある一切の決定または行為を行う前に必ず資格のある専門家のアドバイスを受ける必要があります。メールマガジンにより依拠することによりメールマガジンをお読み頂いている方々が被った損失について一切責任を負わないものとします。